


市政に関する 一般質問

29名の議員が
一般質問を行いました。
質問した議員が選んだ1問を
掲載しています。

会派名	議員氏名	中継映像の 2次元コード
一般質問の表題	質問の 順番	
問	通告の要約	
答	答弁者	答弁の要約
問	通告事項の要約	

※2次元コードから各議員の
中継映像がご覧いただけます

初雁自由政令会 **牛窪喜史** 
本庁舎地下食堂スペース 2


問本市にとって、本庁舎地下食堂スペース跡が、市民にとっても、職員にとっても、今まで以上に利用しやすくなることが重要と考えるが、本市の考えを伺う。

答財政部長 本庁舎地下食堂スペースの今後の活用については、来庁する市民の利便性の向上と職員の福利厚生との両立が重要であると考えている。

本市としては、誰もが利用しやすいスペースになるよう引き続き検討していく。



地下食堂スペースの活用

政策フォーラム **片野広隆** 
不登校児童生徒の出席扱い 4

問不登校児童生徒がフリースクールやオンライン教材を用いた学習による「指導要録上の出席扱い」制度を、全ての児童生徒の保護者へ周知徹底を行うべきではないか。

答教育長 不登校児童生徒のうち、学校以外でも社会的自立に向けて懸命に努力している児童生徒を認め、一定の要件の下で指導要録上の出席扱いとすることは、本人にとって大きな励みと自信になると考える。

今後は、不登校児童生徒の「指導要録上の出席扱い」に係るガイドラインを学校に対して周知徹底するとともに、ホームページ等を活用し、ガイドラインの情報が学校から保護者に提供されるよう対応していく。


不登校児のネット出席

初雁自由政令会 **江田 崇** 
農業支援について 1

問大規模農業者と小規模農業者の共存に向け、市はどんな支援ができるのか。

答産業観光部長 農業者の減少、高齢化、経営耕地面積の減少が続いている中で、農業を継続していくためには、規模の大きな農業者や小規模の農業者への振興策が必要であると考えている。そのため、営農規模拡大を図る担い手には農地の集約、ほ場整備による区画拡大など、生産性の拡大に向けた支援を行うとともに、規模の大小にかかわらず庭先販売所のPR、物価高騰対策事業などにも取り組んでいる。さまざまな農業者が共存する本市の状況を踏まえ、適切な支援策を講じていきたいと考えている。

農業支援


川越志政会 **松本きみ** 
教員の働き方改革について 3

問教職員の勤務について、多忙化している現状があると思うが、その課題を伺う。

答学校教育部長 教職員の業務は、日常の授業準備や教材研究に加えて、事務作業や保護者への対応など多岐にわたっており、勤務時間を超える在校等時間が常態化している状況である。授業を除いた平日1日の従事時間の長い業務内容として、授業準備や書類作成等の事務作業が挙げられることから、業務量の削減や事務の効率化が課題となっている。また、時間外在校等時間が長い特定の教職員の業務集中を解消することも課題であると捉えている。

教員の働き方改革

父子家庭における支援

無会派 **小林 薫** 
山車修繕基金設置を！ 5

問山車の修繕には多額の費用がかかり、住民負担もかなり大きい。観光課の決算不用額を用いて「山車修繕基金」を設置してもらいたい。

答市長 山車を維持管理するには、多額の修繕費用等がかかるなど、山車持ち町内の負担が大きいことも認識している。

山車修繕基金の設置については、現在、運用しているみんなで支える観光基金や川越まつり協賛会の山車修繕等積立金との整合性をどのように図るかなど、さまざまな課題はあるが、基金の設置について調査・研究していく。

市長の政治姿勢

山車修繕基金設置